



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 鍋島 勝雄
- 幹事 中村 良平
- 会報委員長 粟原 藤義



「田んぼとアゲハ蝶」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

3 階の事務所隣に飛騨法人会が事務所を開設に伴い、整理を行なったところ、20 年前に発刊された“青少年に贈る言葉”の小冊子が出てきました。懐かしく思うと同時に今一度読み返していただきロータリー精神の原点に帰っていただこうと配付させていただきました。

また、13 日に、寺田インターアクト副委員長同行にて、飛騨高山高校校長室に於きまして、インターアクト旗を贈呈させていただきました。

さて、近頃面白い事ばかり起こっていますが、昨日より今日に掛けてチリ・サンホセ鉱山の落盤による救出劇がテレビにて大々的に放映されて世界中が固唾をのんで見たと思いますが、私は感動しっぱなしで食い入って見ました。実は 33 年前にペルーの三井金属が所有しています、ワンサラ鉱山に行きました。海拔 3400M に位置し高山病に罹るくらいの高さに有り苦労しましたが現地は日本の鉱山に比べ非常に管理はまずいので何時事故が起きてもお不思議ではない状況の中、日本人の鉱山技師が懸命に、現地作業員を説得させて仕事を辞める姿を思い出しました。内部にはトラックレスと言うスパイラル坑道を掘り車にて採掘場に行くのですが、トンネル内部は、神岡鉱山に比べて、非常に危険な状態でした。何時落盤が起きてもおかしくなく早く地上に戻りたい心境でした。しかし、200M 間隔に事務を執ったり、休憩をしたりする場所が設けてあり地上との連絡環境は整っていました。今回の事故に付いても施設が有ったお陰で救助された印象を持ちましたが電話回線が切断された事が発見を遅れさせた要因だと思いますが偶然にも掘削機が休憩室に到達して発見された奇跡が今回の救出劇につながったと思います。

しかし、約 70 日間 33 人の仲間たちを団結させるリーダーの統率力が大きく影響し、一致協力をさせ支えあう事の大事さと地上との連絡調整の大切さが今回の奇跡の生還を生み出したと思います感動しました。

今回の事故にて、何か事が有った場合リーダーとして事態の把握をして全員の団結を図り、如何に対処するか学ばせていただきました。

<幹事報告>

◎ロータリー財団より

・「ダブル認証ポイントで世界ポリオデーを祝おう」のご案内
10 月 24 日の世界ポリオデーを記念し、ポリオ・プラス指定先とする 10 ドル以上のオンライン寄付に 2 倍の認証ポイントを提供

◎ガバナーより

・ガバナーノミニー決定のご連絡
2013-14 年度ガバナーノミニー 村橋 元 (むらはし はじめ)
本巢ロータリークラブ

◎R I 事務総長より

・国際ロータリー 2012-2014 理事指名委員会の報告
茅ヶ崎湘南ロータリー 松宮 剛 氏

◎日本におけるロータリー平和センターを支援する委員会より

・国際基督教大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス御献金のお祝い

◎零宮祭実行委員会より

・「零宮祭」開催に伴う協賛金のお祝い
企業・団体 協賛金 一口 5,000 円より
個人 協賛金 一口 1,000 円より

<受贈誌>

(財)ロータリー米山記念奨学会(イライトよねやま 128)、
台北東海 RC(会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	42 名	3 名	45 名	45 名	100.00%
本日	37 名	—	37 名	45 名	82.22%

地域を育み大陸をつなぐ

例会報告

<本日のプログラム> 職業奉仕委員会



職業奉仕委員長

門前 庄次郎

今日は社会福祉法人高山市社会福祉協議会 地域福祉課長の小峠賢次さんに来て頂きました。小峠さんは福祉関係の大学を卒業以来ずっと福祉の仕事に携わって見え、現在は社会福祉協議会の地域福祉を担当され、福祉関係団体等のネットワーク化や地域でのサロン活動の組織化また子育て支援・民生児童委員・福祉委員活動の推進など様々な活動団体と常に連携を取りながら、地域福祉の推進に力を注いでおられます。本日は高山市の福祉における現状や、これからこういった事が求められているのか、また地域の住民として私たちに何か出来る事はないのか、そんな事をお話しいただけると幸いです。



社会福祉法人 高山市社会福祉協議会 地域福祉課長
小峠 賢次 様

「高山市における地域福祉の取り組み」

高山市社会福祉協議会は昭和45年10月19日に設立され平成17年市町村合併の折に、1市2町7村の社協が合併いたしました。そして地域福祉活動計画（平成20年3月策定）に掲げた基本方針に基づき計画の目標・期間・事業体系を定め、効果・効率的で実効性の高い事業展開をめざしております。

また高山市の地域福祉活動計画の目標を「地域住民が互いに支えあい、住み慣れた地域で安心して生活できる、住民主

体の地域づくり」とし実現に向けて頑張っております。

現在取り組んでいる主な取り組みを紹介させていただきます。

1、「高山市ふれあいネットワークの設立」

これは、地域関係団体とのネットワークによる支え合い・助けあい活動を展開することによって、誰もが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを推進する事を目的としており、下記の3つの団体(連絡会)を立ち上げ活動を始めております。

★高山市福祉関係団体等連絡協議会（132団体が加入）

高齢者・障がい者・子育て支援・地域・NPOの部会で構成

★高山市自主活動連絡会（155団体が加入）

公民館や空き店舗を活用した健康サロン・地域サロン活動

★家庭教育支援事業

町内会・民生児童委員・福祉委員・社会教育委員・学校関係

P T A・住民が協働し児童センターや社会教育主事室を

拠点にしなが、家庭教育力を高めて行く

この団体は役員を中心とした自主的な運営で行っております。

現在活動している内容を一部紹介させていただきます。

■「見守りネットワーク活動」



要支援者に対して、活動者による声かけ・訪問等行い、問題の発見時には、必要に応じて解決のための話し合い（調整）を行うことができるような組織的な活動

■「要支援者マップづくり」

要支援者を地図上に明記し、活動者による話し合いによって、日常적인見守り活動や、災害時の避難支援等について検討する活動



■助け合い（生活支援）活動

要支援者の在宅生活を支えるため、利用者及び提供者をあらかじめ会員として登録し、清掃、洗濯、買い物、乳幼児の子守り、など日常生活を支援する地域住民による活動



■宅幼老所（集合住宅）

空き教室、空き店舗、民家等を活用し、地域住民が運営する

例会報告

地域に密着した高齢者や子育て中の親のたまり場。健康づくり、介護予防、子育て支援等継続的な交流、学習、相談等行う（ふれあいサロンの常設型）



2、「地域でのふれあいサロン事業（介護予防事業）」



高齢者の皆さんができる限り要介護状態になることなく、健康でいきいきとした生活が出来るよう健康教室を開催し、健康保持や増進に

努めるとともに日常生活の自立を支援し、教室終了後の地域サロンに繋げて行く事を目標としています。

老後をいきいきと暮らすためには

- ① 人と会って会話をし大声で笑うこと
- ② 仲間と楽しい時間を過ごすこと
- ③ 定期的に外出する機会があること

こんなことが、日常の生活習慣の中に組み込まれて行くことが大切です。閉じこもり予防”にもつながり、地域の中で楽しく生きがいを持って生活が出来る・・・それが「サロン」事業です。

3、「高齢化もなんのその！地域のきずな再生事業」

高山市の高根地域は高齢化率47%で、高齢化世帯率39%、内独居高齢化世帯19%と極めて高齢者の多い地域である。また雪深いこの地域の高齢者は、冬季になると他地域で暮らす子ども世帯のところで生活する高齢者もいるが、それができない高齢者は、毎日不安を感じながら家に閉じこもりがちになるとともに、健康状態も悪化する傾向がある。

そのため、遊休施設を活用した冬季高齢者住宅の開設を核とした“地域コミュニティ”の再生事業を実施しました。

『のくとい館』の開設

＊ 高根町内に住み、冬季の間、雪下ろしや寒さで冬の生活に苦慮している元気な高齢者が、4ヶ月間（12月～3月）を集団で生活する。自分の事はすべて自分で行う。

- ＊ 入居料 一人12,000円
（朝・夕食、高熱水費込）
- ＊ 世帯用4室、一人用10室
- ＊ 鉄筋コンクリート、3階建て
- ＊ 昼食用ミニコンビニ有り



＊ 部屋備品（テレビ・こたつ・ストーブ・洗濯機・ふとん）



都市部から若者などを募り、除雪や農作業などに従事してもらうことで、世代の垣根を越えた交流を促進し、地域活性化を図りました。また高齢者でつくるグループ「高根町の



元気を出す会」の特産品（流木オブジェや寒干し大根など）づくりを支援し地域の新たな特産品として位置付け、販路を拡大することで、経済活動を活性化し、地域プライドの再生、及び高齢者の生きがいの創出を図る取り組みを始めました。

今後の取り組みとしては次の事を充実して行きたいと思っております



- ＊ 空き店舗（中心市街地活性化）、空家、遊休施設の活用
- ＊ 福祉マップづくりの推進
- ＊ 日常生活支援事業・成年後見制度の取り組み
- ＊ 地域性を生かし 継続した事業展開
- ＊ 財源確保

また「新たな公」による地域づくりとして次のことを推し進めて行きたいと考えております。

- ＊ 地域福祉活動の必要性「自助・共助・公助」
- ＊ 社会福祉協議会や地域が持つ資源やマンパワーの活用
- ＊ 情報満載のまち（情報交流）
- ＊ ネットワーク化（連携・協働）

例会報告

<ニコニコボックス>

●高山RC 西野 徹 様

過日の母の葬儀の際は、貴クラブよりご厚志を頂き、また大勢の皆様にお参りいただきありがとうございました。

●鍋島 勝雄さん

- ・小峠さん、今日は忙しい中ありがとうございます。先日の芋掘り、ご協力をいただき無事終了する事が出来ました。
- ・西野さんのご来訪を歓迎いたします。

●中村 良平さん

1. 福祉課長 小峠 賢次さん、および高山 RC 西野 徹さんのご来訪を歓迎します。小峠さんご講和よろしくお願ひします。
2. 10日、高山カントリークラブ選手権本選でツアーウンド歩いて回った次の日、5クラブ対抗コンペで野戸さんと一緒にラウンドしました。疲れていて少々荒れたゴルフが功を奏し、ダブルペリアで準優勝しました。

●門前 庄次郎さん、田近 毅さん、 斎藤 章さん

高山市社会福祉協議会 地域福祉課長の小峠 賢次様には、大変お忙しい中ご来訪いただきありがとうございます。後ほどの講演よろしくお願ひいたします。

●鴻野 幸泰さん、米澤 久二さん

社会福祉協議会の小峠 賢次様には先日の『芋掘り会』に参加いただきありがとうございました。大変お世話になりました。また、本日も来訪いただきありがとうございます。なお、本日鴻野さんは都合により欠席で「お話が聞けず残念です」。

●寺田 昌平さん

10月13日鍋島会長、栗原・寺田3名で、飛騨高山高校名入りの新調したインターアクト旗を飛騨高山高校校長室において、長瀬校長・顧問荒川先生立会いのもと部員3名に手渡してきました。来年度皆様方にご迷惑をかけますが、ご協力下さい。

●阪下 六代さん

小峠賢次さんのご来訪を歓迎いたします。小峠さんにはいつもお世話になり、先日の『芋掘り収穫祭』でも大変お世話になりました。これで3回目となりましたが、年を経るごとに運営がスムーズになり、会員の負担軽減されていくのは有難い事です。

●小林 勝一さん

社会福祉協議会の小峠様のご来訪を歓迎します。ご講和楽しみです。

●洞口 良一さん

10月11日の『芋掘り収穫祭』には、会員の皆さんと奥様方にも協力をいただきありがとうございました。9/23から10/11に延期したのが正解であったと思われる、1.9kgもある大きな芋が採れ、皆さんに大変喜んでいただきました。「来年も!」という意見もありましたが、植えつけ等の準備もありませんので、次期委員長さんと相談の上進めたいと思います。

●田中 正躬さん

- ・小峠さんのご来訪を歓迎いたします。
- ・先日の新聞でご覧いただけた方も多いかと思いますが、私の所属していますひだフォークダンスの会が全国スポレクに県代表で出場する事となりました。二度とない事と思います。応援のほどよろしく願ひます。

●内田 幸洋さん

先日、日赤に少しだけ入院しましたが、その折、小峠さんの看護師をしてみえる娘さんに変にお世話になりました。

●新田 敬義さん

小峠さんようこそお越し下さいました。お話お聞きしたいのですが、早退のため申し訳ありません。ウイークリーで拝読します。

●山本 善一郎さん

- ①家内の誕生日の花、大変喜んでいました。
- ②結婚記念祝いの品、孫が喜んで持って行きました

●田近 毅さん

毎年持ち回りでを行っている大学の同級会を9,10,11日、高山・白川郷・金沢で行い、大変喜んでいただきました。来年は京都嵐山と決まり、今から楽しみです。垂井さんお世話になりました。

●垂井 政機さん

チリの作業員、地底からの脱出誠に御同慶のきわみ。それにしてもリーダーの大切さ、ひしひしと感じます。